



朝風

教育目標 自律 貢献
夢大きく 協働的に探究し 誰一人取り残さない社会をつくる

令和5年度
学校報No.31
令和6年1月24日
大仙市立
大曲南中学校



※HP随時
更新しています

第14回ESD大賞 — Education For Sustainable Development Award — 「ESD優秀賞」受賞

【主催】 NPO法人日本持続発展教育推進フォーラム
【後援】 文部科学省 等

本校は、文部科学大臣優秀教職員表彰「社会に開かれた教育実践奨励賞」（教職員組織）に続いて、ESD大賞ESD優秀賞を受賞しました。1月20日（土）に、オリンピック記念青少年総合センターで開催された表彰式に、校長島田が代表で出席し、表彰状を授与されました。

◇ESDって何？

Education For Sustainable Development (教育) (持続可能な) (開発)

日本語で表すと、「持続可能な開発のための教育」となります。皆さんSDGsは知っていますね。「持続可能な開発目標」です。ESDとSDGsの「SD」は共通の意味（持続可能な開発）です。したがってESDを簡単に説明すると、「SDGsの達成に向けた教育」ということになります。SDGsの目標4は「質の高い教育をみんなに」です。そのターゲット4.7にESDの必要性が明記されています。

本校は10年以上に渡ってESDに取り組んできました。最近では、「SDGs教育」といった意味合いで取り組んでいます。例えば今年実施した、洋上風力発電VR体験&海の生物多様性WS、1年生の野菜栽培からフードロスを考える学習、2年生の再生可能エネルギーの学習や気候変動ミステリー授業、3年生のキリバスとのオンライン交流など、全てがESDです。このような取組が評価されてESD優秀賞を受賞することが出来ました。

本校の様々な取組のベースには、学校外の企業や団体、人々とのつながりがあります。家庭とのつながりもその一つです。そのつながり無くして、今回の受賞はなかったと思います。本校とつながっている全てのネットワークに感謝いたします。

なお、具体的な表彰内容は、本校HPをご覧ください。



◇ある出来事……

ESD大賞の表彰式があった1月20日（土）、同じ会場でユネスコスクール全国大会が開催されていました。その大会に私（島田）は、全体会のパネリストとして参加し、本校の取組をプレゼンしたり、今後のユネスコスクールの方向性を提案したりしました。無事パネリストの役目を終え、午後の分科会に参加しました。その分科会のテーマは「生徒たちと考えるー地域や企業とつながる“越境”したESD活動」でした。話合いの中で突然指名を受けたので、「秋田活性化中学生選手権」で提案した「えだまめスーツ」について話しました。えだまめの葉や枝から繊維を作り、生地にしてスーツを作り販売する。着古して不用になったスーツは回収して、土に返し有機肥料にして新たなえだまめを育てるとい、えだまめを中心とし、農業とアパレルと社会・経済をつないだ循環型社会を中学生が提案したということのエピソードとして話しました。さらに、その提案がスーツメーカーと研究所の間で実現に向けて動いていると伝えました。すると、出席者の皆さんが大いに興味を示してくださり、閉会後も「えだまめスーツ完成するといですすね！その時は買います！」「子どもの発想ってすごいですね！」といったように大反響となりました。その場にいた「届けよう、服のチカラ」プロジェクトを展開しているユニクロの社員の方も大変興味を示してくれたので、将来、ユニクロでえだまめスーツが販売される日も近いなと感じました。もちろん大同衣料が真っ先に販売すると思いますが…。

このように、本校の取組は全国から注目されています。皆さんは、全国で最もESDを実践している生徒ということになると思います。

今後も本校は、ESDを学校の柱として、地域や企業、団体等とネットワークを作りながら、グローバルな視野をもち、SDGsの達成に貢献できる生徒を育てていきたいと思っています。